

## 日野原賞審査の流れ

2019年8月23日

### 一次審査

- ・日野原賞に応募された一般演題の抄録に対し、研究支援委員会委員を中心に構成された審査員が審査を行う。審査員はCOI基準に抵触しないものが担当する。
- ・1演題に対して無作為に割り当てられた5名の評価者が、独立に、かつ発表者名や所属名をブラインドした上で、一次審査基準にそって採点を行う。
- ・最高点と最低点を除いた3つの評点の合計得点順で、原則として上位4演題を日野原賞候補演題として選出する。

### 最終審査

- ・日野原賞候補演題に選出された演題の筆頭演者は、学術大会前に追加の抄録を研究支援委員会に提出する。
- ・研究支援委員会委員長の推薦により予め選出された①生物統計に精通した学会員、および②質的研究の方法論に精通した学会員（両者は研究支援委員会委員を中心に構成）のうち、COI基準に抵触しない複数のレビュアーが、追加抄録を事前に評価し、意見書を最終審査員に提出する。
- ・学術大会開催中に最終審査を行い、最優秀演題（日野原賞）を選出する。審査員は、理事、研究支援委員会委員、学会会員の専門家から選出する。審査員はCOI基準に抵触しないものが担当する。
- ・最高得点と最低得点をのぞいた合計得点が最も高い演題を日野原賞とする。同点の場合は、最終審査会に出席する審査員で協議して、日野原賞を選出する。
- ・日野原賞候補演題に選出され、日野原賞に選出されなかった演題から、若手研究優秀賞を選出する。
- ・日野原賞、若手研究優秀賞の最終決定は本学会理事会が行う。

以上